

第4次 安堵町総合計画＜基本構想＞に係わる
審議会の意見及び対応の要旨

頁	意見	今後の対応の考え方
11	町の周辺部の駅も表現しておいた方がいい（委員長）	30 頁の土地利用構想に記載している近鉄の路線と駅を加える。
14	生産年齢人口割合が県内では一位となっているが、時系列でみれないか（委員）	国勢調査のデータを追えば時系列でみることはできるが、それをどのように表現するか検討する。
	安堵町民が何故外の町に住むか分析できないか。（委員長）	アンケート調査で、「住み続けたくない理由」を聞いており、その回答以上のものは現段階では分析できない。
32	施策の体系で「女性」の視点が抜けている（委員）	「いきがい」の主要施策に「男女共同参画」という項目を追加する方向で検討する。
32	今後年少人口は少なくなることが予想される。それへの対策は必要ないか（委員）	「やさしさ」の主要施策に「児童福祉」があり、ここに「子育て」の概念をふくめて考えればいいのではないかと。さらに、戦略プロジェクトの「安堵田園ライフプロジェクト」の中で“子育て応援プロジェクト”を掲げており、重要な対策と考えているが、そのような扱いではだめなのか検討する。
	安堵町の土地条件を考えたら「自転車」の利用が考えられるのでは（委員長）	戦略プロジェクトで「安堵ネットワークプロジェクト」を掲げており、その中に「自転車」を位置付けるよう検討する。
	3.11 の東北大震災を踏まえた内容となるべきである（委員）	県のアクションプログラムの計画を含め、全体的に見直す必要があるかもしれない。
	「障害」と「障がい」は統一すべき（委員）	どちらの表現にするか決定し、統一する。
	高齢者、特に元気高齢者がアクティブに参加するプロジェクトを考えるべきである（委員）	戦略プロジェクトで「安堵田園ライフプロジェクト」では“元気高齢者応援プロジェクト”ということで元気高齢者の社会参加を促す考え方が組み込まれているが表現方法を検討する。

	NPO等含め「新しい公共」の考え方があってもいいのではないか（委員長）。	「まちづくりの推進」の主要施策に「みんなで進めるまちづくり」という項目があり、ここで「新しい公共」の考え方を組み込むことを想定しているが表現方法について検討する。
	「まなびのまちプロジェクト」で旧来の資源があがっているが、新しい資源の発掘と活用が必要（委員）。	「まなびのまちプロジェクト」にその考え方を付加していきたい。
	まちおこしキャラクター（EX あんどちゃん）もアイデアとしてはあるのではないか（委員）。	アイデアとしてはあるが、総合計画に記載するかどうか検討する。
	“安堵”という町名を観光化してはどうか（委員）。	キャラクターの提案と含め、どのように扱うか、検討する。
<その他の事項>		
3	第3次の総合計画について、策定年次を入れる（事務局）。	そのように記載する。
3	総合計画の義務づけは撤廃されたので表現を変える必要がある（事務局）。	「・・・義務づけは撤廃されましたが、・・・」という表現に変更する。
30	土地利用構想図が少し歪（いびつ）になっている。	町の形に即した形に修正したい。